

国際文化学部創立 10 周年記念シンポジウム 「21 世紀・SNS 時代の国際文化と教育」

関東学院大学（本部：横浜市金沢区学長：小山巖也）国際文化学部は、創立 10 周年を記念し、シンポジウムを開催します。21 世紀になり、SNS が普及し、AI の進歩やビッグデータの活用など、社会の状況は大きく変わってきています。他方、地域社会、国際社会では価値観の多様化や多文化共生がますます進んでいます。このような時代にあっては、知的好奇心を喚起し、時代と社会の要請にこたえる教育が求められています。

このシンポジウムでは、芥川賞作家の楊逸氏をお招きし、「21 世紀・SNS 時代の国際文化と教育」をテーマに講演とパネルディスカッションを行います。同氏と国際文化学部の教授陣がそれぞれの専門性を軸に、社会と教育現場の視点から語るシンポジウムにご注目ください。

シンポジウム開催概要

- 主催：関東学院大学
- 開催日時：2024 年 10 月 30 日（水） 開場 17:00／開演 17:30
- 会場：関東学院大学 横浜・関内キャンパス テンネー記念ホール（横浜市中区万代町 1-1-1）
- テーマ：「21 世紀・SNS 時代の国際文化と教育」
- 講演：楊逸（ヤンイー）：芥川賞作家・日本大学教授 「ライブ小説について」
君塚直隆：関東学院大学国際文化学部教授 「SNS 時代の君主制」
- パネルディスカッション：「SNS 時代の国際文化と教育」
パネリスト/楊逸、君塚直隆、大橋一人、鄧捷
- 参加方法：Peatix による事前申し込み制 (<https://kokusai10.peatix.com/>)

シンポジウム参加者略歴



・楊逸（ヤンイー）：芥川賞作家

中国ハルビン出身。1970 年の文化大革命で、両親ともに寒村に下放させられた過酷な体験を経て、1987 年に留学生として来日。日本語学校に通って、一から日本語を学び、2007 年「ワンちゃん」で小説家デビュー。同作で文学界新人賞を受賞。2008 年には「時が滲む朝」で第 139 回芥川賞を受賞。日本語以外を母国語とする作家として史上初の受賞となった。



・君塚直隆：関東学院大学国際文化学部教授

東京都生まれ。上智大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士（史学）。専門はイギリス政治外交史、ヨーロッパ国際政治史。著書に「立憲君主制の現在」（新潮選書、2018 年）、「君主制とはなんだろうか」（ちくまプリマー新書、2024 年）などがある。栄典に関する有識者（内閣府）、国家安全保障局顧問（内閣官房）なども歴任。



・大橋一人：関東学院大学国際文化学部教授

群馬県生まれ。1989 年から関東学院大学に勤務。国際文化学部が開設された 2015 年から 2018 年までの 4 年間は国際文化学部長を務めた。筑波大学修士課程英語教育コース修了。専門は英語学で、英文法理論の研究とそれに基づいた英文法教育の実践に携わる。



・鄧捷（トウショウ）：関東学院大学国際文化学部教授

中国湖北省荊州生まれ。1986 年に北京大学に入学、天安門事件を経て、1991 年に東方言語文学学部日本語学科を卒業。東京大学大学院人文科学系博士課程修了。関東学院大学国際文化学部教授。専門は中国近現代文学、日中比較文学。

関東学院大学 概要

1884 年横浜・山手に米国人宣教師が創立した横浜バプテスト神学校が源流。1949 年の学制改革により関東学院大学となる。現在では、国際文化、社会、法、経済、経営、理工、建築・環境、人間共生、教育、栄養、看護の 11 学部を設置する総合大学。

学生数 10,968 名（2024 年 5 月現在） 学長 こやま よしなり 小山 巖也

取材等に関するお問合せ先

関東学院大学 広報課 日光 萌花
TEL : 045-786-7049
kouhou@kanto-gakuin.ac.jp
横浜市金沢区六浦東1-50-1